



# 2030長期ビジョン

---

総合的まちづくり・すまいづくり支援企業ナンバーワンを目指して

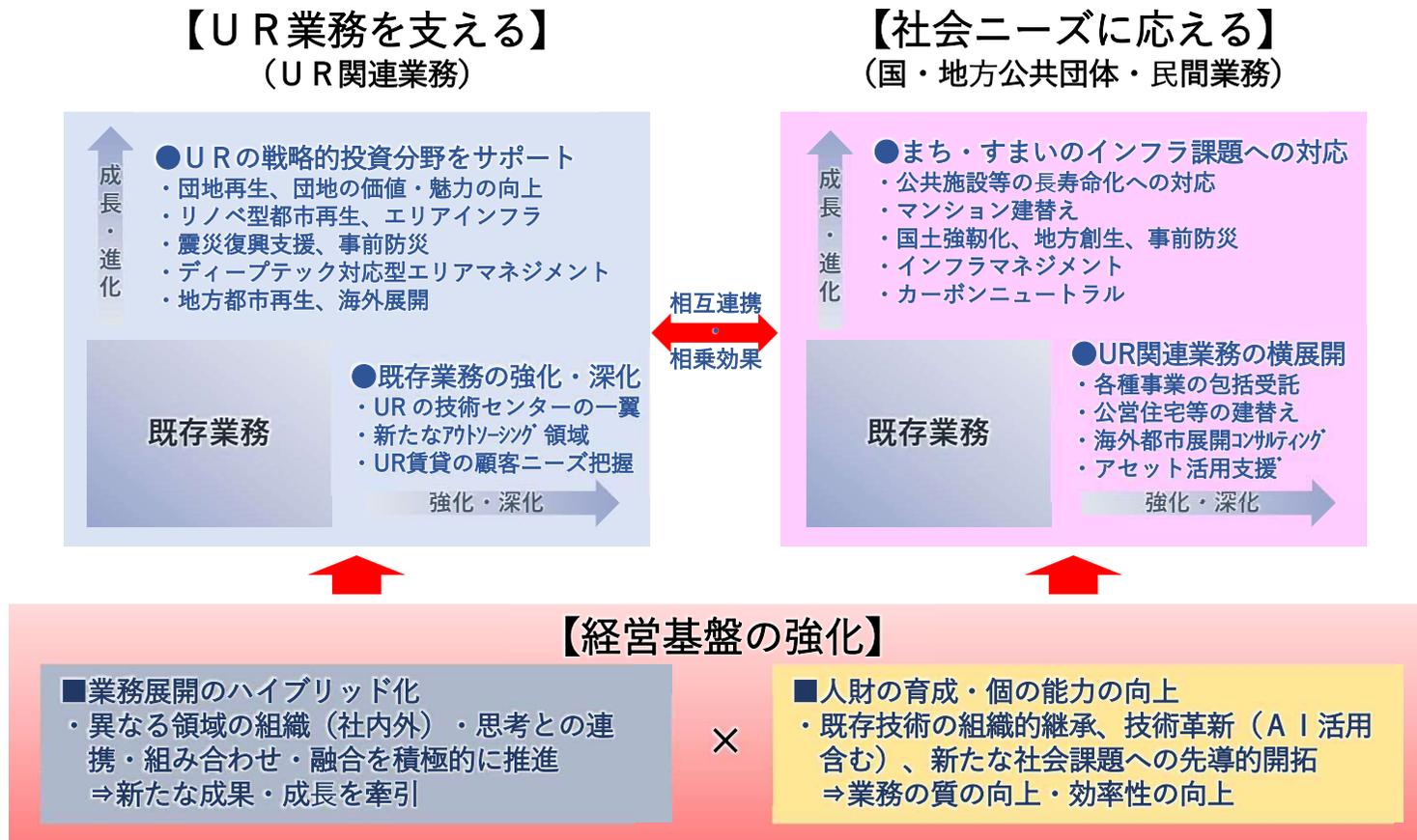
2025年3月

株式会社URリンクエージ

# I 2030長期ビジョン

## (1) 業務の成長ベクトルと業務基盤

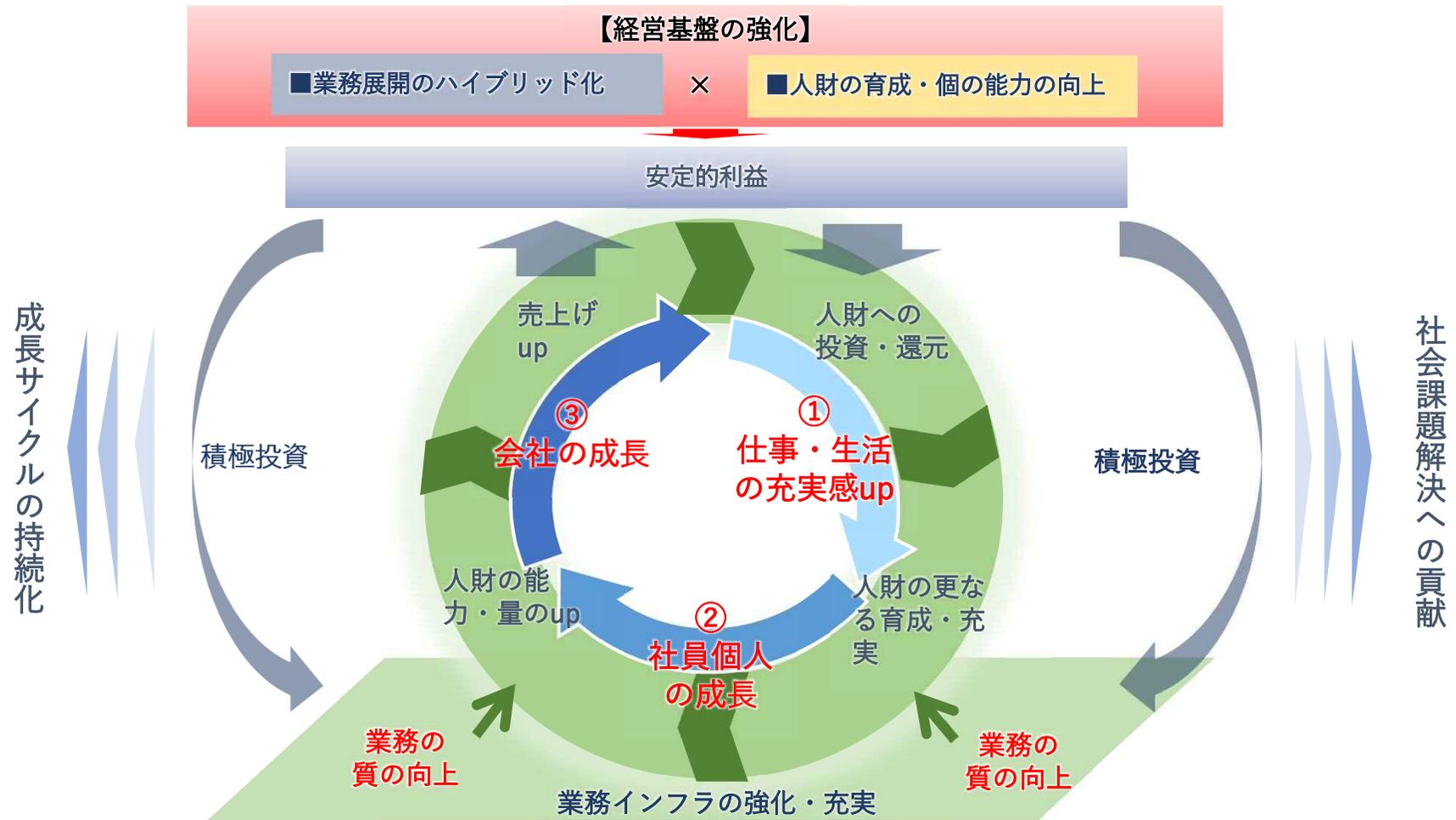
○業務支援会社として、引き続き『UR業務を支える』『社会ニーズに応える』の二本柱を大きなミッションとして掲げ、それぞれの成長・進化及び強化・深化に貢献できるよう、経営基盤の強化を更に推進していきます。



# I 2030長期ビジョン

## (2) 社員と会社の成長サイクル

- 経営基盤の更なる強化を図ることにより、安定的利益確保の継続を推進します。
- 獲得した利益を人財へ投資・還元、業務インフラに積極投資し、成長サイクルの持続化を進めます。



# I 2030長期ビジョン

## (3) 目指すべき経営基盤の強化内容・取組み

■業務展開のハイブリッド化による新たな成果・成長を牽引

【新たな成果・成長】

- ①UR業務を支えながら、新たな社会ニーズを先取り
- ②新たな社会課題に対応する複合領域を先導的に開拓
- ③結果、未開拓な得意分野を確立し、競争力を高める



【業務展開のハイブリッド化：具体的取組み】

### ①UR関連業務×地方公共団体

- 使い手優先の計画・設計
- 既存ストック長寿命化
- 公共団体支援業務の拡大
- ウェルビーイングの横展開
- 事前防災業務の拡大

### ②異業種×URLK

- AI活用の技術革新（既存技術の継承、新技術）
- 新たな床活用（イノベーション関連等）
- 土地・建物の産業転換（環境・食糧問題への対応）

### ③同業他社×URLK

- 複合業務の補完関係拡大
- 新たな社会課題解決への共同受注・共同研究等

### ④本部間・本部支社間・支社間協業

- 複合業務の補完関係拡大
- 営業情報の一元化

■人財の育成・個の能力の向上に積極投資し、業務の質の向上・効率性の向上を推進

【業務の質の向上・効率性の向上】

- ①高度な複数の専門スキルを有し、複合領域業務を牽引
- ②専門スキルの連携・強化と社外からの認知向上
- ③川上からの業務関与拡大と効率的業務推進



【人財の育成・個の能力の向上：具体的取組み】

### ①専門スキル×時代の変化に対応する広範な知識習得

- 外部人材連携強化（人材バンク化・活用の継続性）
- 異業種交流促進
- 大学・学会等との連携強化

### ②DX推進・AI積極活用

- 決裁・契約・執行管理の電子化（共通化）
- 技術の効率的継承
- 業務のルーチン化・チェック機能強化

### ③ナレッジマネジメントの確立

- 本部・支社で培ったスキル等の情報を一元化
- 営業情報との重ね合せで業務方針を最適化
- 部門連携の強化
- シンクタンク機能の一元化

### ④業務のモデル化・更新

- 業務のルーチン化と企画提案業務のモデル化・更新

×

# I 2030長期ビジョン

## (4) 経営の目標

- 国内の経済環境は先行き不透明感を増しているものの、物価が引き続き上昇基調にあることを踏まえ、経営基盤の強化による新規開拓及び経営効率化を反映した売上目標を設定します。
- 不動産投資業務（マンション建替え事業等）については、事業リスクを適切にマネジメントする観点から売上目標を50億円程度とします。

